

「宮城学院広報」第151号、2015年5月20日発行

宮城学院女子大学学長
同 附属幼稚園 園長
平 川 新

新しい人生 新しい宮城学院へ

今年度もまた、新しい人たちが宮城学院の門をくぐりました。桜ヶ丘のキャンパスには、幼稚園、中学・高校、大学がありますので、それぞれの世代の初々しい姿を見ると、宮城学院がこれまではたしてきた役割、これからはたすべき責務を自覚させられます。

宮城学院の前身である宮城女学校は、若いひとたちの人生を切り開いていくための学び舎として、1896年（明治19）に発足しました。今年は129年になります。第二次世界大戦後の学制改革にもとづいて宮城学院女子大学が設置されたのは、1949（昭和24）年のことです。大学の歴史としては66年になります。4年制の英文学科と音楽科から始まりました。いまや10学科にまで増えています。社会が女子教育に何を求めているのか。そのニーズに応えつつ、学科改組に取り組んできた結果です。

130周年を迎える2016年度に大学は、さらに大きな飛躍をめざして、現在の1学部体制（学芸学部）から4学部体制（現代ビジネス学部、教育学部、生活科学部、学芸学部）に編成替えをします。

附属幼稚園も来年度から、幼保連携型認定こども園として生まれ変わります。多様化した女性の生き方を積極的にサポートするために、従来の幼稚園のほかに、三歳児以下の保育機能をあわせもった施設になります。

創立130周年を機に、宮城学院は大きく変わろうとしています。みなさまの暖かいご支援をお願いいたします。